

OBM マンスリー

2011.5月号 Vol.133

2011年5月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

そこが知りたい Q&A ? 一般社団法人って何?

大阪ビルメンテナンス協会は本年3月22日付で一般社団法人の認可を受けました（全国協会は公益社団法人になります）。

これまで本協会では、会員各位に情報を提供し賛否を問う形で移行作業を進めてきましたが、この度改めて山田吉孝会長（写真）、渡辺金靖事務局長に一般社団法人化についてインタビューしました。



Q 一般社団法人の認可が下りましたね。

山田会長) 3月22日付で一般社団法人の認可が下り、4月1日に移行登記を行いました。これで晴れて「一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会」が誕生しました。

Q 移行するに当たって、どのようなご苦労がございましたか。

渡辺事務局長) 定款の構成、言葉の定義、文言の統一など大変でした。次に、「公益目的支出計画」の作成です。「平成22年度収支予算書」「平成22年度事業計画」を認定法で認められている公益事業と定款に適合しているか否かで分類、仕分けを行い、確定し、なお且つ公益目的支出計画が適正かつ確実に実施されると見込まれる申請書類として仕上げる作業です。これは非常に細かな作業でした。

Q お話を伺っているだけでも難しそうですね。

渡辺) いざ、書類を提出する段になっても、役所からの指示は複雑で事務局は大変だったと思います。定款の変更でも、モデルを参考にしながら作成しましたが、なじみの少ない用語も多くて苦労したようです。

Q これまでは公益法人でしたが、今回一般社団法人になった理由は何ですか。

渡辺) 公益法人は、公益目的事業比率が50%以上であること。遊休財産が1事業年度分の公益目的事業に係る事業費に相当する額の上限を超えないことなど制約が多い。さらに認定後も公益認定の全ての基準に適合し続ける必要があり、行政庁および公益等認定委員会のチェックが厳しいのです。

一方、一般社団法人には制約は少なく、公益目的支出計画が終了すれば行政庁の監督は一切なく、比較的自由的な立場で公益的な事業はもとよりさまざまな事業をすることができます。

山田) これまでどおり天神祭のボランティア活動など公益的な活動は続けていけますが、会員のための共益事業もどんどんできますので、一般社団法人へと舵をきりました。

Q いったんどちらかを選択したら、途中で切り替えることはできないのですか。

渡辺) 面白いことに、一般社団法人から公益法人へは認定法の要件を満たせばいつでも認定を受けることが可能ですが、運営が厳しくなったので公益法人から一般社団法人へと移行しようとしてもできません。その場合、解散し、残余財産は全て類似の他の公益法人に帰属させなければなりません。

Q 一般社団法人のメリットは何ですか。

渡辺) 一般社団法人は、公益目的支出計画が終了するまでは、この計画に従って着実に事業運営し、認可行政庁に計画の実施報告する必要がありますが、計画の履行を確保するための必要な範囲内において監督があります。

山田) しかし、終了後は一切ありません。また、公益社団のようなきつい縛りはなく、原則、法人の自主的な運営が可能で公益的な事業はもとよりさまざまな事業を実施できる点がメリットと考えます。

Q 全国協会と同じでなくてもよいのですか。

山田) 当初は全国協会と同じでないといけないと考えて公益法人を目指したのですが、途中から全国協会と地方の協会が別の社団になっても差し支えないということもわかりました。

Q 全国協会は公益社団で大阪協会は一般社団と分かれているので、ちょっとわかりにくいように感じます。

山田) 会員にとっては、地区では一般社団の会員のための事業が協会から期待できますし、全国では、公益社団法人の会員として活動できます。両方の会員であるメリットを享受できるのではないのでしょうか。

Q 分かれていることで何か不便なことはないのですか。

山田) 昨年9月までは、地区協会の会員は全国協会の会員ではなく地区協会が会員でしたが、これからは地区協会の会員は同時に全国協会の会員ということですので、不便はないと考えます。

Q 一般社団法人になったのを機会に会員の皆様に一言お願いします。

山田) 一般社団法人になったことで、大阪協会は会員の皆様方のための事業をどんどん実施することができます。従って、会員の皆様方が協会事業に積極的にかかわり、発言できますので、協会活動に会員の皆様方が積極的に参加されることを期待しています。

新 理 事 就 任 挨 拶

越 智 幸 次 東宝ビル管理（株）

（担当 設備保全部会・経営委員会）

弊社は昨年9月に創業50周年を迎えました。昭和35年、映画館の清掃からスタートし、その後設備管理・警備業務の総合管理会社として現在に至ります。私ども東宝ビル管理の経営理念は、親会社であります東宝株式会社の憲章にあります、小林一三翁の「朗らかに、清く正しく美しく」「吾々の享くる幸福は、お客様の賜ものなり」であり、その理念を実践することにより社会に貢献することです。

ビルメンテナンス業界を取り巻く経済環境は依然として厳しい状況のなか、微力ではございますが、業界発展の一助になれるよう頑張りたいと考えています。

川 人 正 治 星光ビルサービス（株）

（担当 ビルクリーニング部会・経営委員会）

星光ビル管理株式会社に入社致しましたのが6年前であり、清掃部門の星光ビルサービス株式会社に移りましたのが2年前という事で、当業界・業務に関しましては、素人同様であります。

会員の皆様にとれ程のお役に立つかはなはだ心もとない所ですが、会員の皆様、委員会、部会の皆様、そして理事の皆様のご指導を頂きながら、微力ではありますが出来る限りのことをさせて頂き、大阪ビルメンテナンス協会の発展と会員の皆様のお役に立ちたいと考えています。

ちなみに私事ですが、お酒は全く飲めませんがゴルフが好物の60歳、普通の会社員であります。

笹 岡 之 洋 太平ビルサービス（株）

（担当 総務友好委員会・公益契約事業委員会）

昭和63年に本社入社後、岐阜、飛騨高山を経て、大阪に着任し、現在は大阪の本部長をしております。

激動する社会情勢の下、理事会や委員会活動を通じて、ビルメンテナンス業界の取り巻く環境の変化に対応して行きたいと考えております。

会長を始め、理事や監事の諸先輩方並びに協会員の皆様方のご指導ご鞭撻のもと、微力ではございますが協会発展のため、頑張りたいと考えております。

澤 村 剛 士 （株）榮光社

（担当 総務友好委員会・設備保全委員会・建築物衛生管理委員会）

私どもビルメンテナンス業界は、デフレーション化の日本経済そのままに、コストダウン圧力は年々厳しさを増し、人件費は上昇するという大変な状況に直面しています。

また、東日本大震災という未曾有の大災害が起き、今後その影響がどのような形で現れるのかも注視していく必要があります。

今まさに、日本の底力が試されているのではないのでしょうか。「生き残る種というのは、最も強いものでもなければ、最も知的なものでもない。最も変化に適応できる種が生き残るのだ。」（チャールズ・ダーウィン）

私は、この言葉を会社でもよく言うのですが、この変化の時代にこそ対応できる業を、皆様のご指導とご鞭撻をいただきな

がら模索していきたいと考えています。

時 永 周 治 ビューテック（株）

（担当 労務委員会・広報委員会）

これまで、長く情報通信関係の営業や人事、労務等の仕事に携わり、情報通信営業子会社の社長や人材派遣・受託事業の担当役員などを経験して参りましたが、ビルメンテナンス事業については平成22年6月から担当したばかり新米で、自社の状況を知るほかはビルメンテナンス協会の広報誌等で知識を得ているところです。

情報通信事業に携わってきた関係で、現在、大阪商工会議所の情報通信部会副部会長や関西経済同友会の幹事・委員会副委員長を8年余続けており、各種経済団体の活動を行っているほかには大阪府労働委員会の使用者委員を拝命しています。

ビルメンテナンス業界が、日本の経済をはじめ全体の国力が低迷していく中で、お客様の経費節減や入札等の過当競争によるダンピング、人材確保の困難性等々、様々な多くの問題に直面していることは十分承知していますが、ビルメンテナンス業界の新米として異業種を経験してきた立場から大阪ビルメンテナンス協会の活動を通じて、業界の発展に少しでもお役に立てよう頑張りたいと思います。

兵 東 勇 （株）ジェイアール西日本メンテック

（担当 ビルクリーニング部会・労務委員会）

当社はJR西日本のグループ会社で、売上の70%が駅舎や電車などの清掃業務で典型的な受託会社で、残りの30%はホテルやオフィスビル、ショッピングセンターの清掃業務で、民間の清掃会社としての厳しさを受けているということになります。また、京都市営地下鉄の駅業務を受託するなどかなり多角経営になっています。

また、グループ会社の一員として、安全を最優先にした作業を心がけています。従業員の労働災害防止は当然ですが、清掃エリアでの転倒事故などお客様傷害の防止には並々ならぬ注意を払っています。

当社の今日での最大の課題はこのほど開業した大阪ステーション・シティの清掃業務の完遂です。総勢160人余りの要員規模で、当社がこれまで培ってきた清掃技術と運営方法の究極の成果をこの場で実現することとしており、何としても成功させたいと思っています。

山 本 茂 文 東洋ビルメンテナンス（株）

（担当 警備防災部会・公益・契約事業委員会）

私がこの業界に身を転じたのは平成15年ですから、早7年半になります。それまでは、銀行員でありビルメンテナンス業のことは全くといっていいほど知らなかったのが実情です。

この業界に入ってまず感じた事は「命に関わる大変な業界であること」「一方では、世間一般に認知度の低い業界であること」を強く思いました。

しかるに、昨今の当業界に対する価格下方圧力は、業界の存続にも影響する厳しさが感じられます。我々の使命の原点が「良質なサービスの提供」であることを考えれば憂慮せずにはられません。

微力ではありますが会員企業のみなさまと共に「業界の健全な発展」に少しでも力を発揮できればと考えております。

23年度 第1回 理事会

4月22日（金） 協会会議室

1. 一般報告事項

①第12回理事会決定事項

- ・オー・エス・シー・エン
ジニアリング株式会社退
会承認
- ・近畿システム管理株式会
社退会承認

2. 審議事項

- ①新法人に従い会長、副会長
に承認について
- ②平成23年度予算案について
- ③一般社団法人関西環境開発

センター派遣理事（案）に
ついて

- ④委員会・部会担当について
- ⑤(財)大阪府消防設備協会新
理事に推薦について
- ⑥入退会について

3. 報告事項

- ①通常総会 議長・副議長に
ついて
- ②全国協会関係
- ③新委員の承認について

4. その他

23年度 第2回 理事会

4月28日（木） 協会会議室

1. 一般報告事項

①第1回理事会決定事項

- ・会長、副会長の承認
- ・平成23年度予算案の承認
- ・一般社団法人関西環境開
発センター派遣理事の承
認
- ・理事の委員会・部会担当
の承認
- ・(財)大阪府消防設備協会
新理事の推薦の承認
- ・Wish Planning 株式会社

入会の承認

- ・新委員の承認

②緑十字賞 道上武男氏内定

2. 審議事項

- ①平成22年度事業報告案につ
いて
- ②平成22年度収支決算案につ
いて

3. 報告事項

- ①全国協会関係
- ②委員会部会報告

4. その他

ズームアップ

大震災と「二人の嫁さん」

私の長男のお嫁さんの実家は被災した東松島にある。地震の直後、携帯電話は何日間もつながらなかった。呼びかけてもかからない。母親と弟の安否が気になる。近くにある航空自衛隊の松島基地は戦闘機が津波に呑み込まれて使えなくなったという情報も入ってきた。自宅は基地の近くなので駄目かも知れない。重苦しい日々が続いた。彼女は「覚悟しています」と気丈に話していたが、夜、静岡にいる妹さんと電話しながら二人で大声で泣いていたという。妻と二人、かけべき言葉を失った。

幸い、5日後に弟さんと携帯電話がつながり、母弟とも無事で自宅も被害は軽かったという。盛り土の高速道路より海側であったにもかかわらず奇跡的に助かった。しかし、伯父さんを含めて地区

には死者や行方不明者が多数いて、自分たちだけの幸運を喜べないと話した。電気は止まり水道も出ない。それでも命が助かったことだけが救いだ。東松島では火葬ができずに土葬にしたという新聞記事が出ていたが、伯父さんの遺体は山形県・新庄の火葬場まで運んだという。

一方、次男のお嫁さんも母親の出身地はこれまた被災地の南相馬市だ。両親は以前から首都圏で暮らしているが、祖母や親戚が福島第一原発から半径20キロ圏内の立ち入り禁止区域に住んでいた。地震発生当初、こちらも連絡が取れず心配したが、ほどなく「全員無事」の連絡が入った。しかし放射能汚染による立ち退きで祖母や中学生が首都圏に疎開してきた。

ある夜、無事を確認するささやかな宴が開かれ、次男家族も参加した。久しぶりの再会ではあっても心から楽しめなかったという。無理もない。お嫁さんの

祖母は飼い猫を置き去りにしてきたことをずっと悔やんでいたという。遠い道のりを大勢が車で逃れてきたため猫までは連れてこれなかったのだ。祖母にとって一匹の猫は老後の生活の欠かせない友だったに違いない。

一緒に首都圏に避難してきた中学生は近くの学校に転校したが、すぐにやめて福島の避難先に戻った。学校にも友人にもなじめなかったようだ。「放射能汚染」といういじめがあったのかどうかかわからないが、同じころ福島ナンバーの車が首都圏で「放射能は来るな」と落書きされたという報道を耳にした。中学生は物資の豊富な首都圏よりも、不自由だけれどはあるが故郷に戻ることを選択したのだ。5月の連休に横浜の我が家に子供たちがお嫁さんとやってきた。普通の人たちが普通に暮らすことがいかに幸せであるかを身に沁みて感じた。

(広報委員長 内藤修平)

委員会・部会

経営委員会

青年部分科会

3月15日（火）出席者5名

協会会議室

1. 本協会福田理事を講師として、障がい者や就職困難者に対する取組について勉強会を行った。

4月13日（水）出席者7名

協会会議室

1. 青年部分科会の本年度事業活動内容について
- ①青年部の活動について
 - ・天神祭ボランティア、社会貢献セミナー
 - ・今年の天神祭ビルメン神輿ならびに清掃ボランティアに企画段階から参加
 - ・次回の公益委員会において打ち合わせに参加する。
- ・勉強会、講習会、研修会の開催
- ・ホテル業界のビルメンテナンス 井村様講演
- ・ビルメンテナンスから派生する修繕工事 施工現場見学予定
- ・外壁工事現場見学予定
- ・建物エネルギーマネジメント関連（FMなど） 実施現場見学

広報委員会

4月18日（月）出席者7名

協会展示室

1. 「OBMマンスリー」H23年4月号の編集作業を実施した。
2. OBMホームページ更新個所の確認等を実施した。

総務友好委員会

4月19日（火）出席者11名

協会会議室

1. OBM正会員及び賛助会の入退会について
- ①近年、全協及びOBMの正会員数が退会により減少傾向。協会として会員増強対策を検討、正会員数増加の為に未加入者へのアプローチとしてホームページ、加入案内の送付等を実施予定。
2. 総務友好委員会関連業務と手順 各行事における進行要領と時期確認。また委員の分担について確認した。
3. 第7回OBM麻雀大会について
4. 優良社員表彰について（※上記3. 4. の詳細は4ページ記載のとおり）
5. ソフトボール大会について 会場空き状況により、大会の初日が7月17日（日）と例年より早いため、抽選会等の日取りも早急に検討する必要あり。

賛助会世話人会

4月13日（水）出席者11名

協会会議室

【議事内容】

1. 平成23年度新委員選定について

新代表世話人：

住友スリーエム（株）住友 寛氏

新副代表世話人：

ノーリス（株）福田 貴志氏

新任世話人：

山崎産業（株）横井 逸志氏

新任世話人：

ユシロ化学（株）笠原 夏雄氏

新任世話人：（株）万立 山口 裕司氏

2. 今年度事業計画の確認

①第1期（4～6月）の活動内容は、2賛助会員による正会員様への提案クリニックの実施とする。

・実施賛助会員

：（株）リンレイ、住友スリーエム（株）

・実施予定日時：6月16日（木）13時～
協会6階会議室

②ミニ展示会の開催企画について

賛助会員に対し、別途、出展希望等のアンケートを実施し、内容、時期、出展者を決定する。

公益・契約事業委員会

4月20日(水) 出席者15名 協会会議室

- 各分科会からの報告(14時30分～15時小委員会を実施)
 - ①調査・ネットワーク分科会
5～6月中に入札制度に関するアンケート調査を実施し、調査結果により陳情および活動の方向性を検討する。
 - ②検査基準分科会
インスペクション制度の仕組みづくりを提案するための対象となる施設の選定を行う。
 - ③積算基準分科会
昨年の大阪市への陳情により、最低制限価格の見直し(最低価格の切り上げ)がされることとなった件について、電子入札等により大阪市の一般競争入札案件の検証を行う。
- 事業内容の確認
- 「障がい者ビルメンテナンス雇用促進事業」について
- 平成23年度大阪障害者技能競技大会(アビリンピック2011)について
 - ①5月6日(金)エル・チャレンジスタッフ会議にてデモンストレーション
- 天神祭 不足品の発注依頼について

警備防災部会

4月14日(木) 出席者15名 協会会議室

- 防災部会実務研修の開催結果報告
 - ①熟練の警備員からはマトを絞った資料にしてほしいという要望あり。
 - ②経験の浅い警備員からは質疑事項であるQに対して回答Aをさらに詳細に説明してほしい。
 - ③「営業所備付書類一覧表」など好評を得た。
- 講演会について
実施日 5月20日
場 所 大阪ビルメンテナンス協会6階
大阪府暴力団排除条例が4月1日施行しましたので、公益財団法人大阪府暴力追放推進センター専務理事高群哲也先生をお招きして条例の基本理念・大阪府暴力団排除条例の4本柱等について講演いただきます。
- 平成22年度事業報告及び会計報告
- 平成23年度事業計画及び予算
実施事業として以下各項が挙がった。
 - ①事故事例集・苦情事例集の配布
 - ②講演会の開催・防災実技講習会・警備員指導教育責任者研修会
 - ③研修会の開催・実技訓練実施
 - ④見学会の開催
 - ⑤情報収集
 - ⑥資料提供
 - ⑦全体集会を開催

講習会等のお知らせ

◆近畿地区本部

- 月間「ビルメンテナンス」誌500号記念懸賞作品の募集について
ビルメンテナンスにおける課題、提言、展望あるいは日頃、業務を通して感じられていることなど、広く原稿を募集いたします。
 - ・募集期間 4月1日(金)～7月29日(金)
消印有効
 - ・テーマと書式 ビルメンテナンスをめぐる所感・論説・評論・小説・エッセイ
 - ・賞の種類 大賞 1作品
賞状・副賞(30万円)
優秀賞 1作品
賞状・副賞(20万円)
佳作 数点
賞状・副賞
- ※詳細は(社)全国ビルメンテナンス協会のホー

ムページ(<http://www.j-bma.or.jp/>)でご確認下さい。

●「医療機関以外における在宅医療廃棄物の廃棄実態調査」のお願い

医療機関以外で不適切に廃棄されていた在宅医療廃棄物の状況についての調査を行ないますので、是非ともご協力くださいますようお願いいたします。

- ・調査対象期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ・ご回答期日 平成23年6月15日
- ・提出・問合先 (社)全国ビルメンテナンス協会 事業部事業企画課
〒116-0013
東京都荒川区西日暮里5-12-5
ビルメンテナンス会館5F
TEL 03-3805-7560(代表)
FAX 04-4805-7561
URL <http://www.j-bma.or.jp/>

●「第2種電気工事士受験対策講座<技能編>2日間コース」のご案内

このコースでは技能試験の候補問題を中心に、試験対策用に複線図の書き方や電工ナイフや圧着ペンチの使い方など基本作業の習得を目指します。また道具類の使い方が不慣れな受講者が合格するために技能試験の減点ポイントをわかりやすく解説します。ぜひ本受験対策講座をご活用ください。(次回の第2種電気工事士2日間コース<筆記・技能>は、10～12月を予定しております。)

- ・日程 7月2日(土)、3日(日)
- ・会場 エビスビルA Aホール(大阪府中央区淡路町3-2-9 エビスビル)
- ・講義内容 配線図(複線結線図)の書き方/施工条件の理解/道具の使い方・基本作業(ケーブルの切断、皮膜はぎ取り、結線)の習得/候補問題へのチャレンジ
- ・定員 30名
- ・締め切り 6月14日(火)

◆(財)ビル管理教育センター

- 貯水槽清掃作業監督者(再)
平成23年7月12日(火)～13日(水)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年5月25日(水)～31日(火)
- 空調給排水管理監督者(再)
平成23年7月14日(木)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年5月25日(水)～31日(火)
- 清掃作業監督者(再)
平成23年7月15日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年5月25日(水)～31日(火)
- 防除作業監督者(再)
平成23年7月21日(木)～22日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月1日(水)～7日(火)
- 貯水槽清掃作業監督者(新規)
平成23年7月26日(火)～29日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月8日(水)～14日(火)
- 清掃作業監督者(新規)
平成23年8月3日(水)～4日(木)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月15日(水)～21日(火)
- 統括管理者(新規)
平成23年8月8日(月)～10日(水)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月22日(水)～28日(火)
- 建築物環境衛生管理技術者
平成23年8月25日(木)～9月15日(木)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月29日(水)～7月5日(火)

- 空気環境測定実施者(再)
平成23年8月18日(木)～19日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月29日(水)～7月5日(火)

※平成21年度より(財)ビル管理教育センターへ直接、用紙の請求・申し込みをしていただくことになりました。申し込み期間に提出できるよう、早めに申込用紙を請求してください。(TEL 06-6836-6605)

事務局からのお知らせ

- 平成23年度優良社員表彰推薦のお願い
平成9年度から実施しております優良社員の方々の平成23年度表彰式を予定しておりますので、ご推薦よろしく願います。4月27日付でFAXにてご案内しておりますが、詳細は事務局までお問合せください。

- ・推薦基準 ①勤務成績が優秀であり、会社の発展に貢献し、他の模範となる優良な社員
②平成23年3月31日現在、勤続10年以上の社員(管理職にある者を除く)
- ・締切り 5月27日(金)
- ・表彰日時 7月7日(水)14時～
- ・会場 ホテルコムズ大阪

●第7回OBM麻雀大会

- ・日時 6月17日(金)17時開始(16:30集合)
- ・場所 「寿(ことぶき)」
大阪駅前第4ビル1階 北東角(みずほ銀行梅田支店向かい)
電話06-6345-4730
- ・賞品 優勝、2位、3位、飛び賞、参加賞
- ・参加費 ¥3,500
(ゲーム代込み。1ドリンク付き)
当日会場までお持ち下さい。
- ・募集人員 40名【6月3日(金)締切、但し定員になり次第締め切ります】

※FAXにてご案内しておりますが、詳細は事務局までお問合せください。

会員だより

- 入会
[正会員]
・Wish Planning 株式会社
〒598-0012
大阪府泉佐野市高松東1丁目10-37
泉佐野センタービル サウスコア21-701
TEL 072-463-7855
FAX 072-463-7866
代表取締役 吉村宣二様
(平成23年5月1日より)

- 代表者変更
[正会員]
・株式会社加藤均総合事務所
(新)代表取締役社長 加藤浩輔様
(旧)代表取締役社長 加藤均様
(加藤均氏は代表取締役会長に就任)
(平成23年4月より)

- ・コスモエンジニアリング株式会社
(新)代表取締役社長 佐藤彰純様
(旧)代表取締役社長 三林安雄様
(平成23年4月1日より)

- ・株式会社ビル代行 大阪支店
(新)支店長 長内憲一様
(旧)支店長 江井博行様
(平成23年5月より)

〔賛助会員〕

・ペンギンワックス株式会社

(新) 大阪支店長 中川 茂 様

(旧) 大阪支店長 榎木 正 様

(平成23年5月より)

●住所変更

〔賛助会員〕

・木村 衛 生 (本社移転)

〒541-0048

大阪市中央区瓦町4-5-9

井門瓦町ビル7F

T E L 06-6484-6681

F A X 06-6222-7400

(平成23年5月6日より)

※本店と業務部は従来通りです

(大阪市東住吉区杭全1-3-9)

●退会

〔正会員〕

・三和企業有限会社

・丸紅コミュニティ株式会社

(平成23年3月末日付)

・関西ビルサービス株式会社

(平成23年4月末日付)

平成23年度通常総会開催のお知らせ

・日 時 5月26日(木) 14時(受付13時30分)

・会 場 ホテルコムズ大阪6階

※総会終了後、「無災害企業表彰」を、17時より「懇親会」
がございます。

H23年度労働安全大会開催のお知らせ

○日 時：平成23年6月24日(金) 13:30～16:50

○場 所：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター) 7階
大ホール

○主なプログラム

・ご挨拶 大阪労働局労働基準部 安全課長 田嶋 康 男 様

・講 演 大阪労働局労働基準部 安全専門官 川村 昌 光 様

・特別講演 芦屋大学経営教育学部 教授・学生部長 西 光 晴 彦 様

(テーマ) 指導者論「人材育成と指導者」

ー現代の若者と現場指導者のあり方

※会員宛に送付する案内に従ってお申し込み下さい。なお入場無料ですので
お誘いあわせの上ご参加下さい。

●被災地の協会から義援金の御礼状が届きました。

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

会 長 山 田 吉 孝 様

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素からご指導・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の東日本大震災に際しましては、全国協会を通じて多額の義援金を賜り、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

ご案内のとおり、この度の大震災は、地震と津波が過去に例を見ない大きさと東日本を襲い、未曾有の甚大な被害をもたらしました。

被災の後、被災地を回りましたが、その惨状は筆舌では言い表せないひどいものであり、ただただ呆然とするのみでした。

当協会員におきましても、大地震による社屋の損傷、本社や営業所が津波による流失又は浸水したほか、社員や家族に多くの死者・行方不明者が出ているなど、甚大な被害を受けております。

この未曾有の大震災による被害からの復興には、相当の年数を要するものと思われませんが、協会員一同の力を結集して、この難局を乗り越えて行く所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴協会が益々発展されますようご祈念申し上げます。

謹白

平成23年5月9日

社団法人 岩手県ビルメンテナンス協会

会 長 伊 藤 英 明

『がんばっぺ東北!』

理事 笹岡 之洋

今月末に、友人の結婚式に出席するため仙台に行く予定をしております。震災に関する暗いニュースが続く中ではありますが、幸い親しい友人や知人は、みんな無事とのことでした。久しぶりに仙台弁(世代的に、標準語に近い仙台弁です)が聞けるのではないかと楽しみにしております。

仙台は幼い頃から学生時代まで長年暮らした思い出深い場所でありまして、海水浴で訪れた深沼海岸(荒浜)、ドライブコースの仙台空港や仙台新港…。

このたびの震災でテレビに映るところには、見覚えのある昔懐かしい風景がありません。東北の心温まる優しい景色はそこには無く、がれきや土砂で変わり果てた景色の映像を見るのは悲しいものです。

被災地を訪問された方の話をお聞きしますと、テレビ等の

メディアで見た映像の凄さを被災地を訪問することで、より一層、被災状況の悲惨さと津波の恐ろしさを実感したと言われました。

仙台出身のお笑いタレントがブログで書いたことが印象的でした。

「戦後、俺たちのじいちゃんやばあちゃんは日本を復活させた。世界には奇跡と言われた日本の復興。

必ず復興します!

日本をナメるな!

東北をナメるな!

これを元に、英紙インディペンデント紙が赤い日の丸を背景にして日本語で書かれた「がんばれ東北」「がんばれ日本」のメッセージが生まれました。

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災され今なお不自由な生活を送っていらっしゃる方々に、心からお見舞いを申し上げます。

O B M行事予定

5月	25	水	
	26	木	通常総会、理事会(ホテルコムズ大阪)
	27	金	カーペットメンテナンス新時代セミナー
	28	土	
	29	日	
	30	月	ビルクリーニング部会 KKC電気設備コース
	31	火	〃
	1	水	ビルクリーニング競技会予選会(～2日)
	2	木	総務友好委員会
	3	金	三役会議・理事会
6月	4	土	
	5	日	
	6	月	
	7	火	
	8	水	ビルクリーニング科通信訓練水準調整会議
	9	木	ビルクリーニング科通信訓練(実技～14日)
	10	金	設備保全部会小委員会
	11	土	
	12	日	
	13	月	
	14	火	
	15	水	公益・契約事業委員会 広報委員会 経営委員会
	16	木	警備防災部会 賛助会世話人会ミニ展示会 医療関連サービスマーク実地調査員研修会
	17	金	労務委員会
	18	土	
	19	日	
	20	月	設備保全部会
	21	火	青年部分科会
	22	水	
	23	木	ねずみ害虫防除作業従事者研修会
	24	金	労働安全大会(ドーンセンター)

労務委員会 労働災害事故事例(H23年4月度発生分より)

4月9日、午前10時頃、建物内階段のモップ拭きを後ろ向きに行っていたが、足元をよく確認していなかったため階段を踏み外して転落し右手首を骨折した。被災した清掃作業員が65歳の高齢ということもあって、少しの躓きが階段下までの落下となり、60日の休業見込(うち入院日数20日)という重篤な被災に至ったもの。

日常的に行う慣れた作業でも、少しの油断と注意不足が大きな怪我に繋がるという点、各社におかれても今一度注意喚起いただきたい。

なお、4月度の報告をいただいた会員企業は62社、その中で業務災害が6件(うち1ヵ月以上の休業見込2件で、内訳は墜落・転落が1件、その他5件であった。

<労働災害事故報告提出のお願い>

本協会会員企業には毎月労働災害事故報告の提出をお願いしておりますが、残念ながら、提出いただいている企業が会員数の3割にも満たないという低水準が継続しています。

報告用紙は協会ホームページ(<http://www.obm.or.jp/>)からもプリントアウトしていただけますので提出をお願いします(なお、事故が発生しなかった月もその旨を記載し提出下さい)。

被災事例を検証、また情報を共有することで、業界全体として同種事故の再発防止に努めたく存じます。何卒、ご協力賜りますようお願いいたします。

KKCお薦め講習会

●ビルクリーニング現場主任養成コース

清掃現場における主任の役割は大変重要です。現場の第一線で、経営者の意向を末端まで反映させながら、クリーンクルーの指導監督、日常業務の割振り、テナント等からのクレーム処理など多岐にわたります。企業の顔ともいえる現場主任が心得ておくべき内容を、4日間(のべ16時間)にわたり学んでいただきます。

<日 時> 6月29日(水)・7月1日(金)・5日(火)・7日(木)

4日間とも 午後1時～5時まで

<場 所> 新清風ビル

申込・問合先：一般社団法人関西環境開発センター
教育訓練部

電 話：06-6372-9123

FAX：06-6450-8038

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの投稿を募集しています
●題材・・・自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
●字数・・・15字×16～19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。



編集雑感

今年のゴールデンウィークは、最大で10連休とカレンダー的に恵まれたものでした。しかし、普段できない清掃やメンテナンス等、この期間を利用した作業もあるため、中々心身ともにゆっくりとはいかないのが斯業の宿命ともいえます。

世間的な動きでは、東日本大震災の影響で当初は空気が目立っていた各地の宿泊施設に、直前一週間でかなりの予約が入ったとのことでした。行き過ぎた自粛はわが国全体を疲弊させるとのことで、被災地以外では従来どおりの経済活動を等々の呼びかけが各所から発信され、多くの人が慌ててこれに反応した様子が窺

えます。

また、このような皆さんの動きに合わせた？ かのよう(日程は前から決まっていたが)、新しくなった私たちの街の玄関口、大阪ステーションシティがGW後半の5月4日にオープンしました。「OBMこみゅにけ～しょんず」本年新春号では、巻頭特集「大阪を盛り上げる未来予想図」で開業に向けた動きを取り上げました。そして今、新しい駅ビルに赴き人の流れを目にする度に、その先駆を自負している次第です(「OBMこみゅにけ～しょんず」バックナンバーは本協会ホームページからご覧いただけます)。

さて、新しい年度が始まって間もなく2ヵ月が過ぎようとしています。本協会

では、一般社団法人としての歩みを始めたと同時に、新たな役員体制が始動、まさに心機一転の春になりました。われわれ広報委員会でも、これまでの委員長、副委員長が、それぞれ副会長(広報委員会担当)、委員長に昇格、加えて、新副委員長2名が就任したこともあり、委員全員が気持ちも新たにリスタートしました。

読者の皆さまに共感いただいたり、また、時には厳しいご意見を頂戴したりと、人混みにまぎれてひとり悦に入らただけでなく、多くの方々から様々な反応をいただけることを目指して発信を続けて参ります。引き続きよろしくお願い致します。

(S. S)

